

令和2年度第1回鎌倉市障害者福祉計画推進委員会 会議結果概要

日 時	令和2年 8 月 25 日(火)18時 00 分 から 19 時 00 分まで
開催場所	鎌倉市福祉センター2階 1・2会議室
出席者	<p>[推進委員会委員(名簿順)]</p> <p>○12名出席</p> <p>岸川委員(委員長)、湯浅委員、木村委員、國分委員、笠間委員、 竹田委員、小澤委員、宇高委員、大津委員、橋本委員、小田委員、神田委員</p> <p>[鎌倉市障害者福祉計画推進会議 幹事委員]</p> <p>○6名出席</p> <p>[事務局]</p> <p>○5名出席</p> <p>以上、23名出席</p> <p>「鎌倉市障害者福祉計画推進委員会 委員名簿」を参照</p> <p>[傍聴者]</p> <p>なし</p>
配布資料	<p>【配布資料】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・鎌倉市障害者福祉計画推進委員会委員名簿</li><li>・令和元年度第2回障害者福祉計画推進会議概要</li><li>・令和元年度第2回障害者福祉計画推進委員会概要</li></ul> <p>(資料1)令和元年度(2019年度)障害者福祉計画推進状況報告書(案)</p> <p>(資料 2-1)鎌倉市障害者福祉計画策定に係るアンケート調査結果報告書</p> <p>(資料 2-2)鎌倉市障害福祉サービス提供実態調査結果報告書</p> <p>(資料 2-3)鎌倉市障害者福祉計画策定に係るアンケート調査結果報告書(その他意見等)</p> <p>(資料 3-1)国の基本指針の見直しについて</p>

	<p>(資料 3-2)障害福祉サービス等及び障害児通所支援等の円滑な実施を確保するための基本的な指針の一部改正について</p> <p>(資料 3-3)鎌倉市障害者福祉計画(第3期鎌倉市障害者基本計画・第6期鎌倉市障害福祉サービス計画)の考え方について</p> <p>(資料 3-4)第6期鎌倉市障害福祉サービス計画策定スケジュール案</p>
<p>会議概要</p>	<p>1 令和元年度障害者福祉計画推進状況報告書(案)について</p> <p>事務局より、令和元年度障害者福祉計画推進状況報告書(案)について、資料1に基づき説明。</p> <p>(委員からの意見等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(委員)43頁の日中活動支援の充実、日中一時支援サービス事業内容について、2019年事業を実施した中での課題が空欄である。親の会でも要望が何回も出ているが、高校生まで児童デイはとても充実している中で、卒後、下手をすると学校より早く家に帰って来てしまうということで、成人の日中一時支援の充実を再三お願いしているところである。そういう内容を計画にぜひ盛り込んでいただけたらと思う。今は、児童デイが非常に充実していて、皆さん毎日のように児童デイにお子さんが行っていらして、高校を卒業するとすぐに何もなくなるという状態である。日中一時支援をやっている事業所はほとんどない状態なので、それを市としてどのように考えているのかお聞きしたい。</li> <li>・(事務局)日中一時支援の事業所は二か所しかなく、何とか増えないかという気持ちはある。移動支援と日中一時支援の報酬を改定して、少しでも事業者さんがやりやすいようにという努力はしてみたが、確かに日中一時支援の事業所が少ないことは課題となっているので、課題の所に記載していきたいと思う。</li> <li>・(委員)実態調査報告書の中にはこれはどのような形で書いてあるのか。やる、あるいは拡大するといっている事業者はあるのか。</li> <li>・(事務局)事業所向けアンケートの問11に該当する。12頁である。</li> <li>・(委員)新規に二つ増えるということでもいいのか。また、これからフォローしていかなければならないということでもいいのか。</li> <li>・(事務局)その時点の回答としては、その通りである。</li> <li>・(委員長)事業所さんが増えるかどうかも含めて、計画を進めながら、充実したものになってほしい。</li> <li>・(委員)実態報告書の53・54ページの子どもへの支援の、発達支援サポートシステムの充実のところの学校サポーターというシステムなのだが、昨年度はモデル校を数校指定して、そちらに学校サポーターとして入るというシステムだったと思うが、今年度から無償化してしまっていて、学校サポーターの方に交通費のみの支給ということになったということ聞いた。発達支援サポートシステムのところで講座については書いてあるが、学校サポーターについてはあまり書かれていない。ちゃんとした明記がないのも気になるところで、事業としても別になっているのか、それともここに包括されているのかということもわからない。何人かの学校サポーターの方からも無償でというのは余りにも負担が大きいという意見を聞いている。どうして無償化になったのか、その経緯や、これから有償化に戻していくことがあるのかということも気になるところである。システムとし</li> </ul>

<p>会議概要 (続き)</p>	<p>てとても良いものだと思われ学校からもうかがっている、ぜひもつこの事業に価値を見出してもらいたいと思う。無償化になった経緯もうかがいたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(事務局)講座の記載だけになっているというご指摘があったが、課題のところ講座を受けた方を今後どのように活動しているかということを書かせていただき、実際、講座を受けていただいた方の活動が昨年が初めてだったので、この記載はこういう形になっている。交通費相当支給のボランティアさんということで、位置づけをされているのだが、学級支援員さんと準じた制度設定で行われていたが、業務という形になってしまうと、賃金として支払わなければいけないという制度があり、このサポートシステムの元々の趣旨としては、もちろん学校で支援をしていただくということなのだが、地域の身近な支援者の方が、障がいや具体的ななかかわりを理解していただき、お子さんがクラス地域などで身近なサポートをしていただくということで、制度の変更があったので、昨年度までやっていただいた方には、単価が変更になったというところで、申し訳なかった。全体的な制度設計を今年度改めたので、この形で趣旨をご理解いただいて活動していただいているということである。令和2年度から地域で活動していただくということで、幼稚園や保育園にも、幼稚園の方にも調整をはかっているところである。今年度からは市内の小中学校全校で活動していただくということで、幅広く活動していただきたいと考えている。</li> <li>・(委員)その説明はすでにいただいている。制度設計の変更で、無償化・ボランティアという位置づけであるとおっしゃっているが、やはり、かなりの時間を取られるということが実際のところ、いいお仕事、いい支援をさせていただくためには、何らかの報酬がないと、なかなか皆さんお金持ちばかりではないので、お仕事と同じレベルとは言わないが、最低賃金くらいは払ってほしいというのが、多くの方々が思っていることだと思う。鎌倉市は鎌倉市で独自にされるというのは分かるが、他の市町村の例を見るとやはりお支払いしている。無償化のところはなかなかないのではないかと。完全無償という形はなかなか難しいのではないかと。良いクオリティーのサービスをとということであれば、高くなくてもいいから、ある程度の報酬というのは、皆さんプライドを持ってこの育成講座を受けていらっしゃるの、その時間も取っているということをお考えいただき、クオリティーの高い支援をとということであればそちらをもう一度お考えいただくという価値はあるのかなと思う。</li> <li>・(事務局)ご意見としては、他のサポーターさんからもいただいて十分承知はしているところである。実際に、拘束の時間については、負担が大きいかなということで制約を設けさせていただいている。今のところ、できれば対象を広くやっていきたいということで、逆に言うと、一人の方にお金をたくさん払うというよりは、地域で、収入としてではなく、サポートをしてくださる方のすそ野を広げて行くことを考えている。実際、ここで活動していただいて、こういうことが自分としてもできたらいいなということであれば、学校で、あるいは幼稚園で雇用していただくという形で、今度はお仕事で、そういう所にもつながってほしいのかなと考えている。</li> </ul> <p>2 障害者福祉計画策定に係るアンケート調査の結果報告について</p> <p>事務局より、障害者福祉計画策定に係るアンケート調査の結果報告について、資料2-1に基づき、説明。</p> <p>(委員からの意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(委員)アンケート調査という言葉を使っているが、実際は実態調査なのだから、次回からは障害者実態調査とした方がよいと思う。もう一つは、サービス提供実態調査と変えた方が分かりやすい。位置づけがはっきりすると思う。実態調査報告書の6~7頁あたりで、「特に中心となり、あなたを介助してくれる家族についてお答えください」と年齢を聞いている。20代、30代、・・・と聞いているが、介護してくれる方が高齢者であることを考えると、42%以上の方が70代以上ということである。今、包括的なサービスをしなければいけないことになっている。後期高齢者がどの程</li> </ul>
----------------------	--

<p>会議概要 (続き)</p>	<p>度高齢になっているかということが大切である。ここが包括的な支援をしなければならない潜在的な必要性があるわけで、それをこの中に分かるように示していかないといけない。これから共生社会を目指し総合相談窓口ができて、包括支援体制をつくるのであろう。包括支援システムを作り出すと鎌倉の総合計画にも書いてあった。ここはもうちょっと細かくクロス集計をして、課題を浮き彫りにしておかないといけないと思う。介護と確実に連携をとってほしい。親の場合 70 代云々という、下手をすると介護保険になる。子どもさんが障害者サービスを受けて親御さんは介護保険というのが問題になっている。鎌倉も当然そうなる。このデータからみると、障害を持っている人の親の中で、42%以上が 70 歳以上なのである。超高齢者社会である。そこに着目してもう少し分析して、対応してほしい。障害福祉課だけでこれを持っていても意味がないので、共有してほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(委員)データを精査するうえで、今後予測できるところも含めて計画を立てていくという事も重要になってくると思う。</li> <li>・(委員)報告書の1頁の調査の目的が分かりにくい。アンケート調査でも背景・目的が重要になってきて、今までに何が分かっているのか、何が分かっているのか、何を明確化したいのか、そういうことも書いていかないといけないと思う。何に困っていて何をどうしたいのだというののははっきりと分かるようなアンケートやっていくことが必要である。データのとり方にはひと工夫必要なのではないかと思う。</li> <li>・(委員)これは厚生省がこのようにデータを取ってくださいといっているのである。なぜかという、今の福祉サービスの実態がどうなっているのか調べているのである。北は北海道から南は沖縄までずっと同じもので調べていくのである。国が給付している福祉サービスの量がこのままでいいのかどうなのかというのを調べている。このデータは市から県に上がって、県から全部国に行く。トータルを見ているという面が一つある。ただし、このデータは基本計画にも使うわけで、障害者の基本計画は給付とサービスだけではないから、障害者全体を見ていくわけである。そうすると、ここで当事者などからの意見が出ていて、それをどこで取り上げるのかという、ほとんど基本計画で取り上げられることになる。ここでは、障害者給付だけの話である。だから、日中支援は何人で、日中支援希望者はこのくらいいますということを見るもの。でも実態で言うとこれくらいしかありません。福祉施設の人たちに聞いてみたら、全体で二つ新しくやろうとすることがありますと。この3つを合わせたら、足りているのかいないのか、さらに必要なのか。それに対して事業者はいやいや我々はまだ計画をもっていませんよということになる。そうすると、これだけの需要があるので、これくらいのサービスを提供していただけませんかくらいのことは市の方から言える。基本的な問題は基本計画で取り扱うものだと思う。</li> <li>・(委員長)題目と表記についてご意見をいただいた。アンケートだとリングが好きですかミカンが好きですかということになるが、調査となればより詳細な、どこにどれだけのものが必要なのか分かることになる。題目でも目的をしっかりと表せるところもあると思うので、それについては国の方向性とかけ離れない形で工夫できればいいと思う。</li> </ul> <p>3 第6期鎌倉市障害福祉サービス計画の策定について</p> <p>事務局より、第6期鎌倉市障害福祉サービス計画の策定に向けて、国の基本指針の見直し等について説明。</p> <p>(委員からの意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(委員)今の計画をつくった時に、庁内会議の概要がついてきた。だから、庁内会議でどういう話をしたのかが分かった。途中から出なくなりました。庁内でどんな話がされたのか分からないのにここで議論しても仕方ない。会議の概要は要ると思う。</li> </ul>
----------------------	---

<p>会議概要 (続き)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(事務局)概要については経緯を確認したいと思う。</li> <li>・(スケジュールについて一同了承。)</li> <li>・(委員長)2回目以降は、計画の素案について進めていく。その前に必ず推進会議が行われた上で話し合うので、推進会議の内容についても、ここで共有した上で協議をしていきたい。</li> <li>・(委員)今話されたのは、誰が何を言ったと分かる議事録なのか、それとも概要なのか。</li> <li>・(委員)議事の概要でいいと思う。この問題について、市内ではどのように進めようと思っているのか、方向性のようなもの、そういうことが分かればよい。この会議で盛り上がっていったらどうやってまとめるかということがある。もう一つは、市は市の事情があるわけで、それを無視してここで話してもややこしくなるだけである。何を話したか分かればそれでいい。</li> <li>・(委員長)方向性である。一定の範囲の中で決めていかなければならないということが当然あり、いいアイデアであってもあまりにも逸脱した計画は出せないということもあるので、全体の流れの中で、調整・擦り合わせをさせていただくことが求められるので、それがわかる記録があると推進委員会としても助かるので、宜しく願いたい。</li> </ul> <p>4 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(事務局)他にご意見などがあれば後ほどメールなどでいただきたい。第2回の鎌倉市障害者福祉計画推進委員会は10月の下旬ごろに予定している。ご意見などは、9月11日(金)までに事務局までお寄せいただきたい。</li> </ul> <p style="text-align: right;">以上</p>
----------------------	---